

ふじみ野

No.75

R6.11.1 発行
埼玉県ふじみ野市議会

市議会だより

CONTENTS

民間活力の導入で
市政改革実行中！

2p

ステラ・イーストのホール利用料決まる

8p

市政を問う！一般質問 17人が政策論議

11p

文化施設で意見交換

17p



働く人シリーズ⑤4 清掃員さん

市役所の正面玄関から床、トイレ、階段、点字ブロック等の清掃を毎日行っています。
来庁者から「きれいですね」と言われることが嬉しくやりがいのある仕事です。

(裏表紙に関連記事を掲載)

令和5年度 決算の特徴

※万円未満四捨五入

歳入 …増減した主なもの

市民税	令和5年度 84億7272万円 対前年度比 7248万円増
固定資産税	令和5年度 71億3200万円 対前年度比 9796万円増
国庫支出金	令和5年度 86億6548万円 対前年度比 ▲10億4813万円減
市債	令和5年度 41億9600万円 対前年度比 21億8973万円増
歳入 決算総額	518億2582万円 前年度対比 11.7%増 (54億1357万円)

額は決算額で令和5年度と令和4年度を比較すると、約1・5%増加した。また、会計年度任用職員の人件費は、令和5年4月1日付で時給が28円上昇した。令和4年度から継続して任用されている人は、全職種の平均時給で31円上昇し、賃上率は2・8%となった。



プロの目線で公共施設の安全確認

民間活力の導入で

市政改革実行中！

令和6年第3回定例会では、令和6年度一般会計補正予算、令和5年度一般会計決算をはじめとした各会計決算、市立文化施設条例の一部改正などが慎重に審議され、市長提出議案28件

全てが可決されました。また、地方財政の充実・強化に関する意見書、保護司の安全確保と処遇改善を求める意見書2件が全会一致で可決されました。

市税は着実に増収

問 市税の増収要因は。
答 現年課税額ベースで市税全体は、約1億8600万円増加した。

個人市民税は、納税義務者の増加と合わせ、所得も増加したことにより、約630万円増となった。

法人市民税は、製造業1社と建設業1社の法人税割が大幅に増加し、約6600万円増となった。また、固定資産税は、地価上昇に伴う土地の負担調整措置による増収、家屋の新築、新築住宅軽

減措置切れなどにより、約1億800万円増となった。

財政指標の分析と今後の取り組み

問 経常収支比率が上昇しているが、その要因は。
答 経常収支比率とは、経常的に支出する経費に充当された一般財源が、毎年度経常的に収入される一般財源に占める割合である。

令和5年度の経常収支比率は98・9%となり、前年度と比較し3・2ポイント上昇した。これは、経常収入の増額を経常経

市職員の賃金状況

問 人件費上昇による影響は。
答 市職員の人件費の総

公共施設の包括管理業務

問 令和5年度から市内の71カ所の公共施設管理業務が、一括して民間業者に委ねられた。実績と効果は。
答 包括管理事業者による各施設の統一的な目線による保守管理、ドローンを活用した点検、修繕業務の実施、タブレットを活用した連絡や進捗管理の共有、作業報告など、効率的な運用を図っている。

また、巡回点検で不具合があった際、簡易な修繕であれば包括管理事業者による迅速な対応が可能となり、令和5年度は416件実施することができた。施設管理の契約事務が一本化されたことや、支払い手続きの簡略化により、職員の事務の効率化が図られた。

さらに、包括管理事業者が主体となって実施する毎月の定例会では、施設所管課に対する安全意識の向上や施設管理に関する啓発、知識習得など、職員の施設管理に対する能力向上に資する研修等も実施している。

問 今後の公共施設管理の対応方針は。
答 包括管理事業者や施設所管課等と連携し、さらなる管理品質の向上と業務の効率化を図り、持続可能な公共施設マネジメントを推進していく。

歳入歳出差引額 22億7920万円

歳出 決算総額 495億4662万円
前年度対比 14.1%増 (61億2041万円)

実質収支額 17億8882万円

翌年度へ繰り越すべき財源 4億9038万円

歳出 …増減した主なもの

人件費	令和5年度 57億8154万円 対前年度比 7155万円増
扶助費	令和5年度 129億9589万円 対前年度比 5億7527万円増
公債費	令和5年度 44億7521万円 対前年度比 2244万円増
普通建設事業費	令和5年度 85億9340万円 対前年度比 57億9047万円増

※端数処理の結果、数値が一致しない部分があります。

DXで変わりつつある教育現場

国際化・情報化教育推進事業

教育現場にタブレット端末を導入して4年。子どもたちの学びと教職員の働き方についての効果があったかが質疑されました。

問 令和5年度のタブレットの活用実績は。

答 小・中学校ともにドリル学習ソフト、協働的な学びやプログラミング学習等でほぼ毎日活用しており、利用率は向上している。

問 選択問題中心のドリル学習ソフトでは思考力が養われにくいのでは。

答 使用していたソフトはその点で中学生の学習意欲を十分に満たせない状況があったため、令和6年度から書き込み式の問題が多いものに変更した。

問 業務効率化による教職員の労働時間の変化は。

答 ワークシートの電子化など様々な取り組みにより、令和4年度以降の時間外在学等時間は、小・中学校ともに年々改善している。



タブレットを囲んでワイワイ

わたしも一言



（池内さん）手を挙げるよりタブレットに書き込む方が発言しやすい人が多く、意見の量が増えました。新しい学習ソフトは作文や読解の解説が詳しくなって作文力の向上につながっていると感じています。

（小畑さん）英作文の発表では、文章に資料やイラストが添えられるので伝わりやすくなりました。委員会で共用のチームズを使っているので、協力するキャンペーンやコラボ企画にも便利だなと思います。

中学3年生 池内さん 小畑さん

文化振興事業について、実績や今後の取り組みなどについて様々な角度から質疑されました。令和5年度はステラ・ウェストが完成し、文化振興事業が拡充されました。また、企画提案型事業が市内各所で開催されました。

文化芸術が育つまちへ

文化振興事業

問 文化芸術企画提案型委託事業のホール活用の実績と効果について。

答 ステラ・ウェストホールでは管弦楽団のコンサート、オペラ公演、NHK交響楽団のコンサートで約2千名の参加があった。ホールが完成したことがきっかけで、初め

問 文化芸術事業の発信に向けて今後の展開は。

答 徐々に利用者等は増えている。また、指導者も増えてきていることで、年々実を結んでくると認識している。



大ホールを独り占め

わたしも一言



ふじみ野ステラ・ウェストのこけら落としの際、ホールで4人グループによりビートルズの歌を歌いながらスタインウェイのピアノを演奏しました。

その後、「ホールでピアノを弾こう」という企画に参加し、施設を利用する機会が増えました。音響効果が良いので気持ちがいいです。

小佐野泉さん

妊娠期から切れ目のない支援

母子保健包括支援事業ほか

令和5年度から全ての妊婦や子育て家庭が安心して出産・子育てできるように伴走型相談支援と、経済的に支援するため出産・子育て応援給付金の支給が一体的に行われています。その成果について質疑されました。

問 5万円の出産応援給付金の支給状況は。

答 面談で妊婦や養育者に対し給付金を支給している。

問 令和4年度分として対象となったのは408件だったが、令和5年度分は589件で対象者全員に100%の支給となった。

問 5万円の子育て応援給付金の支給状況は。

答 生後4カ月までの乳児がいる家庭を訪問支援する、中には赤ちゃん事業で面接を受けた養育者に対し、給付金を支給している。

問 令和4年度中に出生した人も対象として

問 業務効率化による教職員の労働時間の変化は。

答 ワークシートの電子化など様々な取り組みにより、令和4年度以降の時間外在学等時間は、小・中学校ともに年々改善している。



ここから始まる子育て支援

身体状況によりごみ出しが困難で、身近にごみ出しの協力が得られない要支援以上の40歳以上の一人暮らしの人、または家族も高齢や障がい等によりごみ出しが困難な世帯のごみ出し支援が行われています。

高齢者等のごみ出し支援

収集運搬事業

問 毎月の利用状況は。

答 90人から100人くらいの推移で利用されている。

問 ごみ出しがなかった場合の安否確認の状況や令和5年度の緊急対応を行った事例は。

答 ごみ回収の収集業者がいつもあるごみが出ていない、状況がおかしいと判断した場合、収集業者から高齢福祉課に連絡し対応している。

問 令和5年度の緊急対応では大事に至る事例はなかつ

問 毎月のごみ回収の状況は。

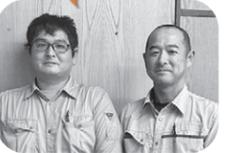
答 回収日を忘れてしまった、利用申請を止めないまま施設に入所していたなどの状況が確認された。

問 ごみ回収時の訪問が安否確認のチェック機能として働いていることが分かり安心感につながっている。



ちゃんとごみが出てるかな

わたしも一言



令和5年度からふじみ野市資源リサイクル協同組合の職員が、毎週水曜日に玄関先に出されたごみの回収に伺い、一人暮らしの高齢者等の安否確認にもつながっています。利用料も無料となりとても利用しやすくなっています。ご近所でごみ出しに困っている人がいましたらぜひお声かけください。

ふじみ野市資源リサイクル協同組合 岡田充史さん 鈴木洋司さん

新ルート新サービスで利便性向上

交通政策推進事業

令和5年度から市内循環ワゴンは新ルートでの運行を開始し、IC決済やバスロケーションシステムの導入などで便利になりました。審議では利用状況や課題について質疑されました。



市の東西の架け橋Eコース

問 運行計画やサービス見直しの内容とその効果は。

答 令和5年4月より市役所本庁舎と大井総合支所を結ぶ新コースを加えた全5コースでの運行を開始した。

これにより市内の東西連絡性の向上、川崎・元福岡地域での乗り残しの改善、大井武蔵野地域及び亀久保地域において相互通行となるなど利便性の向上が図られている。また、スマホ等でワゴンの現在位置を確認できるバスロケーションシステムや、交通系ICカードによるキャッシュレス決済の導入によって利用者サービスの向上も図られた。

問 去最大の10万9754人となった。

答 今後の取り組みべき課題は。

問 利用者増加に伴って従来発生していなかった停留所で新たな乗り残し事例が発生しているが、その際には速やかに予備車を手配して対応している。また、新コースは踏切を通ることから列車事故等のトラブルが発生した際には市のホームページやバスロケーションシステム上で遅延情報をお知らせしている。

問 運転手の確保も引き続き課題となっていることから、給料面等の運転手の処遇改善を図ることで解決に向けて取り組んでいく。

問 配置の状況は。

答 教員業務支援員スクール・サポート・スタッフの配置状況は市内で19人、19校に配置している。大規模6校には週3日間、それ以外の学校には週2日間の配置をしている。1日4時間勤務のため、4時間分の業務を先生に代わって行っている。



意外と多い事務作業

問 主要業務内容は。

答 印刷、データ入力、教材の作成補助など、今まで教員が行っていた事務的な業務を代わって行う。

問 教職員の業務改善全体による効果は。

答 時間外在校等時間が1カ月で45時間を超えた教職員は、小学校では令和4年6月期61・3%から令和5年6月期50・5%、中学校では令和4年6月期74・7%から令和5年6月期60・3%と年々減少している。

わたしも一言



事業開始当初は少し不慣れな点もありましたが、現在では作業依頼の形式も整い、事務量の削減に大いにつながっています。事務作業のほか、校内の時計の点検や入学式、卒業式などの行事の補助もお願いしています。

教員が生徒と向き合える時間が増えたことが一番良かったことで、今ではないことが考えられないほど助かっています。

大井中学校 校長 本川秀知先生

スクール・サポート・スタッフの配置で業務改善

教育支援事業

令和5年度より教職員の業務改善のため、スクール・サポート・スタッフが新たに配置され、教職員の労働時間の短縮につながっていることが質疑で明らかになりました。

賛成 長期的な視点に立った市政運営の継続を

青藍会 川島秀男 議員

令和5年度の市一般会計決算は歳入歳出ともに増額になっているが、公共施設関連工事や市民生活の支援、地域経済の活性化など、基金も活用しながら適切かつ効果的な事業執行が行われてきたことを確認した。

また、市税の収納率が過去最高の99.4%であったことも高く評価する。

今後も社会情勢の変化を踏まえ、長期的な視点に立った安定的かつ健全な市政運営の継続を期待する。

反対 暮らしを守る市独自の対策が不十分

日本共産党 塚越洋一 議員

コロナ禍が長引く中で、市民生活と事業者の実態に応じた市独自の積極的政策展開が必要だにもかかわらず、その対応が限定的な部分にとどまり、本当に困っている人たちにきめ細かに行き届かせることができなかつた点は、財源を有効に生かすことができず極めて残念である。

民営化によって、市の職員から現場が遠くなる課題がある。再委託は現場に直接出向き、実態を正確に把握することを求める。

賛成 ふるさと納税・社会教育事業を評価

会派外の議員 金濱高頭 議員

ふるさと納税は市の貴重な財源と考える。担当課職員の行動と推進する取り組みを積極的に実施したことで、前年度比61%増の大幅な増加となったことを大きく評価する。

社会教育事業でも市民が閲覧することができる遺跡情報システムについて、取り組みの結果アクセス数が前年度の倍増を超える成果となった。今後は体験を伴う文化財に触れる機会の増加などにおいて成果を期待する。

令和5年度 一般会計 決算討論

賛成多数で認定

賛成 安定的な自主財源の確保を評価

公明党 古越孝子 議員

予算に対する収入率と執行率いずれにおいても令和4年度を上回った。また、不用額は減少となっていることから、適切な予算積算及び編成・執行が行われていることを評価する。

また、自主財源の根幹をなす市税の収納率は高い割合を示し、収入未済額については過去最少となり、収入未済の縮減、新規滞納の発生防止により、徴収対策を継続して進め安定的な自主財源の確保への取り組みを評価する。

賛成 議会が認めた予算を適切に執行

会派外の議員 民部佳代 議員

二元代表制のもと、議会が承認した予算に基づいて適切に執行された。

物価高騰対策や政府による唐突な制度改正など行政の負担も大きく人材確保が課題だが、職員の賃上げは適切に行われた。

ふじみ野ステラ・ウェストは市職員を現場に配置すべきであった。今後には活かしてほしい。

学校では民間プールの活用や教員業務支援員の配置などで教職員の長時間労働も減り、児童生徒に向き合う時間が増えたことを評価する。

令和6年第3回定例会の提出議案と審議結果

●全会一致で可決した議案

議案番号	議案名	議決結果	議案番号	議案名	議決結果
第43号議案	財産の取得の追認について	可決	第60号議案	ふじみ野市国民健康保険条例の一部を改正する条例	可決
第44号議案	財産の取得の追認について	可決	第61号議案	ふじみ野市立文化施設条例の一部を改正する条例	可決
第45号議案	財産の取得の追認について	可決	第62号議案	ふじみ野市下水道条例の一部を改正する条例	可決
第46号議案	専決処分の承認を求めることについて(令和6年度ふじみ野市一般会計補正予算(第2号))	承認	第63号議案	財産の取得について	可決
第47号議案	令和6年度ふじみ野市一般会計補正予算(第3号)	可決	第64号議案	ふじみ野市道路線の変更について	可決
第48号議案	令和6年度ふじみ野市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可決	第65号議案	ふじみ野市道路線の認定について	可決
第49号議案	令和6年度ふじみ野市介護保険特別会計補正予算(第1号)	可決	第66号議案	ふじみ野市道路線の認定について	可決
第50号議案	令和6年度ふじみ野市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	可決	第67号議案	教育委員会委員の任命について	同意
第53号議案	令和5年度ふじみ野市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	第68号議案	公平委員会委員の選任について	同意
第55号議案	令和5年度ふじみ野市水道事業会計決算の認定について	認定	第69号議案	ふじみ野市立東原小学校増築棟整備事業建設工事請負契約の締結について	可決
第56号議案	令和5年度ふじみ野市下水道事業会計決算の認定について	認定	第70号議案	財産の取得について	可決
第57号議案	ふじみ野市地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例	可決	議第1号議案	地方財政の充実・強化に関する意見書	可決
第58号議案	ふじみ野市個人番号の利用事務等に関する条例の一部を改正する条例	可決	議第2号議案	保護司の安全確保と処遇改善を求める意見書	可決
第59号議案	ふじみ野市税条例の一部を改正する条例	可決			

●賛否が分かれた議案

○：賛成 ×：反対

議案番号	議案名	議決結果	青藍会					公明党			日本共産党		会派に属さない		会派に属さない		会派に属さない					
			川島秀男	前田広子	鈴木宏樹	板倉篤	原田雄一	加藤恵一	小林憲人	山田敏夫	古越孝子	鈴木美恵	川畑京子	島田和泉	足志津子	床井紀範	塚越洋一	田中早苗	金濱高顕	坪田敏孝	鈴木啓太郎	近藤善則
第51号議案	令和5年度ふじみ野市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第52号議案	令和5年度ふじみ野市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第54号議案	令和5年度ふじみ野市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長は採決には加わっていません。

ステラ・イーストのホール利用料決まる

市立文化施設条例の一部改正

建設中のふじみ野ステラ・イーストのホールなどの料金を定めた条例改正案が可決されました。
322席のホールを終日利用した場合、土日及び休日でも3万2千円、平日は2万5650円で、市外の団体が利用する場合や入場料を徴収する場合はそれぞれ加算があります。一方、練習やリハーサルは半額で利用できます。

問 条例の提案理由は。
答 ステラ・イーストのホール棟は市役所とイオンタウンの間で建設を進めている。来年9月末にオープン予定で1年前から予約が取れる。本年12月から受付を開始するため、議案を提出した。
問 一般の人が利用できるのはいつからか。
答 10月は文化祭などもある。その日程を含めてこれから詳細を詰め、一般に開放する。
問 価格の算出方法は。
答 ステラ・ウエストも同じだが、1席当たり1時間7円の単価に席数を掛けている。他市に比べかなり安価だが、音響面は良い。
問 席数が少なくなるが妥当か。
答 806席のステラ・ウエストのホールは稼働率が60%と多くの人が利用している。ステラ・イ



文化芸術と出会う場に (完成予想図)

ストは平日料金を若干安くし、稼働率70%となるよう毎日でも利用してもらおう価格設定にしている。

ひとり親家庭における父または母を応援

令和6年度一般会計補正予算(第3号)

ひとり親家庭の父または母に対し、教育訓練受講利用者の負担軽減と利用促進を図るため、教育訓練給付金の支給内容が拡充される予算が計上されました。

問 事業内容は。
答 ひとり親家庭における父または母の主体的な能力開発の取り組みを支援し、自立の促進を図ることを目的とした制度で、専門実践教育講座を修了した後に受講費用の一部を支給するものである。
問 補正内容は。
答 従来では受講費用の60%、年間上限40万円のみが給付であったが、講座修了後1年以内に資格取得、就職した場合に受講費用の25%、上限20万円を追加支給する。
問 また、受講する者のうち雇用保険の教育訓練給付費を受給できない受講者に対し、従来の制度では講座を修了後に一括して支給されていたが、半年ごとの分割



あなたのために頑張るからね

支給が可能となる。
問 対象となる講座の内容は。
答 主に介護福祉士や看護師、准看護師、美容師、社会福祉士、歯科衛生士、保健師、調理師、精神保健福祉士などがある。
問 現在受講中の人は。
答 歯科衛生士1人、看護師4人、准看護師1人、鍼灸師1人の7人が受講している。そのうち2人が今年度中に講座を終了予定である。

市政を問う！

一般質問

一般質問とは、議員が市政全般にわたり、市の考えを問うものです。今回の議会では、17人の議員が一般質問を行いました。掲載した内容は各議員本人が要約したものです。なお、全ての質問と回答は市議会ホームページの会議録で閲覧できます。(11月下旬掲載予定)

問 簡易ベッドとテントの使用は要配慮者優先か。
答 福祉避難スペースで、要配慮者は優先して段ボールベッドが使用できる。また、テントは子どもへの授乳が必要な避難者等、プライバシー確保が重要な要配慮者が優先して利用することを想定している。
問 長期避難の場合は、避難生活が長期間にわたる場合は、物資供給協定先や国、県などからの支援物資の受け入れにより、一般の避難者にも段ボールベッド、テント、パーテーションが行き渡る体制の構築を考えている。
今後、受援体制の充実や避難者のプライバシーの保護、ストレス低減など避難所の環境整備に努める。

問 指定避難所のトイレはどのような物が設置されるのか。
答 既存トイレを活用するほか、指定避難所ごとに折り畳み式簡易トイレ8基、これに使用する蓄便袋1400セット、要配慮者の使用を想定した自動ラップ式トイレ1基とこれに使用する蓄便袋600セットの備蓄をしている。さらに、仮設トイレの設置を要請できる体制を整えている。



自宅でも用意してね

問 男性の育児・家事分担比率は15%とされるが、市の現状は。
答 昨年度の市の調査では家庭での男女平等の意識で、「平等」の男性は46・4%、女性は29・9%で女性の負担感が現れている。
問 日本人のボランティア参加率は国際比較で低い。人々がボランティア活動に参加するには行政の働きかけが必要。例えば災害時支援ボランティアの振興



ボランティア活動の振興

問 死後、長期間発見されない人もいるが対策は。
答 孤独死の防止及び安否不明の際の対応体制づくりのため、本年、不動産事業者と市関係機関で連絡会議を開催する。
問 理系人材の少なさが経済低成長の原因の一つとされる。理系科目への関心向上に向け、とられている学習内容は。
答 学習指導要領に基づき実施しているため、独自実施について予定はない。

STEAM・理系教育の推進



災害時における指定避難所の環境
田中 早苗 議員



男性の育児・家事参加
坪田 敏孝 議員

議会交流事業

子ども議会体験ツアーを開催します

小学4年生から6年生と保護者を対象に、実際の委員会室や議場で議会の雰囲気を感じることができます。議員との意見交換、議場の見学や写真撮影ができるほか、議場での発言体験を予定しています。ぜひご参加ください。

日時 令和7年1月18日(土) 午前10時から正午
場所 ふじみ野市役所本庁舎4階 議事室内

定員 子ども15名(保護者同伴) 参加費 無料

申込 11月5日(火)から11月20日(水)までにウェブフォームで申し込む(先着順)

※議場での発言体験を希望する児童は、200字以内に内容をまとめる準備をお願いします。また、申込後に発言体験の希望を決めることもできます。
※参加者と保護者以外のご来場はご遠慮ください。



意見書

地方の切実な声を政府や関係機関に届ける

本定例会では「地方財政の充実・強化に関する意見書」及び「保護司の安全確保と処遇改善を求める意見書」の2件が提出、全会一致で可決されました。

地方財政の充実・強化に関する意見書

地方公共団体では、新たな役割が求められているとともに、地方公共サービスを担う人員の確保が大きな課題となっている。

2025年度政府予算及び地方財政の検討に当たって賃上げ基調に相応する人件費の確保まで含めた地方財政基盤の確立を目指すよう以下の事項を求める。

- 1、増大する地方公共団体の財政需要を的確に把握するとともに、人件費を重視し、より積極的な地方財源の確保、充実を図ること。
- 2、社会保障経費がその他の一般行政経費を圧迫することがないように、財政措置を十分に拡充すること。
- 3、臨時財政対策債に頼らない自律的な地方財政の確立に取り組むこと。
- 4、特別交付税の分配にあたり、支給水準が国の基準を超えている自治体に対して減額措置を行わないこと。
- 5、自治体業務システムの標準化・統一化に向けて、引き続き必要な財源を保障すること。

保護司の安全確保と処遇改善を求める意見書

現在、様々な事例により保護司制度の安定的な存続が見通せず、活動が先細り保護観察対象者の社会復帰が遠ざかることになる。

国において、保護司の安定的確保に向けた安全確保と処遇改善について、下記事項を早急に具体化することを強く求める。

- 1、保護観察対象者と安全に面接できるよう、保護司の自宅以外の場所を確保し、安全対策を図ること。
- 2、保護司の日常活動を支援する各地の保護司会と保護観察所の体制の充実に努めること。
- 3、保護司が活動諸経費の自己補てんをすることがないように処遇改善を図ること。
- 4、保護司会運営のために必要な運営経費の支援をすること。
- 5、地域で更生保護のボランティア活動を行う保護司について、国民の認知度と理解が深まるよう広報活動をさらに充実すること。

送付日：令和6年9月25日 (主意抜粋)



聞こえづらさを
感じる人への窓口支援
古越 孝子 議員



円滑なコミュニケーションのために

毎年、年度当初に、文部科学省が作成する啓発リーフレットの配布やトラブルを防ぐ学習を進めている。学校だけでなく、保護者と連携しながら引き続き取り組む。

認知症ケア技法として見る・話す・触れる・立つを四本柱とする「ユマニチュード」の普及を。市民向けの認知症講座や家族介護教室、小中学生向けの認知症サポーター養成講座で、ユマニチュードの内容も紹介していく。



手話でデフリンピックを表現

異常な猛暑が毎年続き、生活環境が変化している。公園に日陰を増やす取り組みが必要ではないか。

延長や、斜め横断ができるよう警察に要望が必要では。有効な手立てを市として警察へ要望していきたい。



認知症の人に
寄り添う社会の構築
鈴木 美恵 議員



日陰を増やす取り組み
金濱 高顕 議員

大原緑道について、市道に接する場所の見通しが悪く危険という声がある。車椅子は通行できない。自転車は降車するよ

実は古墳のまじり
ふじみ野

古墳PR策として御墳印、御墳印帳を作成し、



おいしいふじみ野給食

市報や展示会を活用し、本市の取り組みや情報を発信していくことは、非常に効果があるものと考えており、関連する部署と連携し検討する。

生活保護受給者のうち本来権利がある年金を受け取れていない人がいる。年金請求申請を社会保険労務士に委託しては、

生活保護受給者のうち本来権利がある年金を受け取れていない人がいる。年金請求申請を社会保険労務士に委託しては、

育休中、すでに入所している上の子の保育は、生まれた子が1歳になるまでは上の子の保育は継続できる。

育休中、すでに入所している上の子の保育は、生まれた子が1歳になるまでは上の子の保育は継続できる。



市誕生20周年で
おいしい給食のアピール
加藤 恵一 議員



生活保護行政の改善
前田 広子 議員



育休退園の廃止を
民部 佳代 議員

子どもたちの
安全なSNS利用

学校におけるSNSによる犯罪を未然に防ぐための周知・啓発の状況について検討していく。

令和7年度事業のリニューアルに向けた課題や取り組みは。コロナ禍以降の新規参加者の減少や参加から4年以上が経過し、ポイント付与が終了した参加者の活動状況を把握しづらいという課題が見えてきた。

ヒアリングフレイル（聴覚機能の衰え）対策として、聴力チェックアプリの活用や耳トレの実施を。

本庁舎のデジタルサインエージを使用した応援動画の放映、またギャラリイや障がい福祉課内、大井総合福祉センターなどでポスター等の掲示をするなど、工夫を凝らした周知啓発方法について検討し、大会に向けて認知度向上を図る。

視覚的に効果が期待できる看板を設置できないか。看板の内容の改善を検討していく。

歩行者用青信号の時間

県では、8市1町の自治体で御墳印、御墳印帳を発行している。本市でも市内外の人に広く権現山古墳群をPRするために御墳印等の印刷、発行を検討していく。

生活保護受給者のうち本来権利がある年金を受け取れていない人がいる。年金請求申請を社会保険労務士に委託しては、

市民の体調の急変等で救急要請が必要な時、職員が適切な対応ができることが必要だ。普通救命講習の受講状況は。



保育園楽しかったよ

産後ケアを利用しやすく
産後、母体を回復し育児支援を受ける産後ケア事業。現在は2泊3日で8万円、1泊ごとに4万円の利用者の負担が生じる。もう少し手ごろな負担で利用できないか。

東台小の学校開放



道路冠水の軽減施策

板倉 篤 議員

問 新たな雨水貯留施設の計画は。

答 完成予定の川崎調整池等の効果を検証し検討していく。

問 雨水浸透マス設置事業の周知拡大は。

答 県はこれまでに1050基を設置した。今後も県と連携し、軽減効果が見込める地域を選定しながら周知を行い設置を推進したい。



完成が待たれる川崎調整池

子どもを性暴力から守る

問 子どもを性暴力から守るため導入される日本

版DBSに期待される効果は。

答 子どもに接する仕事に就く人の性犯罪歴の確認等事業者の責務が明確になることで、教職員だけでなく学校に関わる全ての人による性暴力を防ぐ更なる抑止力になると考える。

問 市の事業委託先に認定を求める考えは。

答 国や県の動向を注視し市長部局とも連携しながら慎重に進める。

児童生徒の熱中症予防

問 本市の熱中症対策ガイドラインは。

答 国や県の学校における熱中症対策ガイドラインを準用して予防に努めている。

発症時の対応も危機管理マニュアルで各学校・教職員の共通理解・共通行動を図っている。



少しのごみから山積み

問 ごみ捨て場の設置数と集積分量は。

答 上福岡七まつりは4カ所設置し、竹飾りも含めたごみの総量は9960kg。おおい祭りは5カ所設置し、ごみの総量は1060kg。

ごみ箱を多く設置したとしても、来場客のマナーが向上しなくては会場内をきれいに保つことはできない。

問 上福岡七まつりのチラシの中にポイ捨て防止啓発やごみ捨て場の周知がないが対応は。

答 次年度開催にあたり、と口の健康に對する理解を深め、より良い生活習慣を身に付けられるよう取り組む。

各小学校において、学校歯科医や歯科衛生士などの専門職と連携協力した歯科指導や周知啓発を行い、児童や保護者が歯

実行委員会で検討していきたい。

市内児童の歯科衛生や口腔ケア

問 口腔ケアの重要性と予防周知啓発は。

答 令和5年度における児童の口腔状況は、虫歯がある児童の割合が8.8%で令和元年度と比較して4.4ポイント減少している。

また、解体費用も数億円の規模になることから、計画的に実施していきたい。

公民館にチラシを置いてほしいのは、利用者

問 公民館にチラシを置いてほしいのは、利用者

に何らかの情報を届けたいからだ。それを内容によって制限するのは、検閲にあたらぬか。

答 市議会に提案されている議案に反対する趣旨のチラシは、一方の立場の内容であることから、公共施設への配架は不適切であると判断した。

後援等とチラシ配架の承認の基準は

趣旨に賛同できない事業の場合は後援しないとあるが、チラシ配架への影響は。

後援等とチラシ配架の承認の基準は

問 趣旨に賛同できない事業の場合

答 後援または協賛を申請された事業は、後援等の承認に関する要綱の承認基準の全てを満たすことが要件である。

今回のチラシ配架は、政治的中立性を損なうおそれに当たると判断し、再作成を依頼した。

意思決定支援とは

問 障がい福祉サービス

答 障がい福祉サービスや成年後見制度における本人の意思決定支援は、本人の意思決定が困難な人に、可能な限り本人の意思が反映された生活を送ることができるよう支援していく。

問 本市では、今年度から全校が民間施設を利用したプール授業を行っている。

学校プールの利活用が課題となるが、どうするのか。

答 プール解体の時期などを踏まえて、児童生徒への教育活動に資する活用方法を最優先に関係者や地域の方々に意見を伺いながら検討していきたい。



公教育の質を高めること

問 義務教育の質を高め、一人ひとりに合った学び

を実現していくためには、



公民館でのチラシ制限は検閲では

鈴木 啓太郎 議員



福岡中央公園でマラソン大会を

の申請件数及び認定件数はどうなっているか。

答 令和6年8月末現在、3件の申請があり、そのうち1件が認定を受けている。

問 10月から始まる定期接種において、新しいワクチンの市民への情報提供は。

答 市では、予防接種全般について、ワクチンに関する説明書を予防接種を実施する市内の実施医療機関に配布するともに、予診の際には十分な説明を実施するよう周知している。

新たなスポーツイベントによる地域の活性化

問 福岡中央公園を中心とした新たなマラソン大会の開催はできないか。

答 福岡中央公園を中心としたコース設定における問題点として、イオンタウンふじみ野の周辺道路と渋滞時の迂回路が重なっているため、交通規制の許可が下りない。

新型コロナウイルスの新規接種と定期接種

問 現在、本市における新型コロナウイルスの予防接種健康被害救済制度

また、ワクチン接種は強制されるものではないこと及び使用するワクチンの種類や効果、副反応等についてホームページ等を活用して、接種希望者に対して適切な情報提供ができるよう努めていく。



水道水の有機フッ素化合物PFAS

塚越 洋一 議員

問 市の水源井戸から有機フッ素化合物が検出された。市の見解は。

答 国の暫定目標値を大きく下回り、安全・安心な水道水を給水できていると認識している。

水質検査結果は市報で公表、適切な情報発信に取り組んでいく。

住居表示板(街区表示板)の更新

問 剥がれたり、見えにくくなっている住居表示板を取り換えるべきでは。

答 古いものは設置から50年以上が経過している。これまでも調査するなど検討してきたが実施



なんて書いてある

私道の寄附には要件があり相談を受けた際には現地確認をするなど対応している。国の動向を確認し、他市の情報を収集し、私道の寄附納について研究していく。

私道採納の促進を

市内には私道が多く、主要な生活道路になっていく。原因は、開発の際に当時の市・町が採納を受け入れなかったから。高齢化や権利移転により採納が困難になっている。早期に解決することが必要ではないか。

また、市独自で配置している少人数指導支援員、教科補充講師、学び育ちサポーター等、児童生徒一人ひとりに対するきめ細かい支援体制を充実させている。

これらの取り組みが全国や県の学力・学習状況調査の結果に、子どもたちの学力向上の成果として現れているものと評価している。



市南側の公共施設の充実を
床井 紀範議員

問 市の公共施設の配置はアンバランスであり、南側地域には少ない。トナリエふじみ野の空き店舗に市役所出張所の設置を。

答 すでに行政拠点が3施設ある。新たな施設の設置ではなく、マイナナンバーカードの電子申請を活用してほしい。

問 子育て支援施設の整備を。

答 民間支援施設も含めて子育て支援拠点が13施設あるので、今後も有効に活用していく。

避難所運営の改善を

問 避難所・避難生活学会は48時間以内にトイレ・キッチン・ベッドを避難所に供給する「避難者の命を守るTKB48」を提唱している。避難所の運営に生かすべきではないか。

答 段ボールベッドとパーテーションは、協定により優先的に提供される体制を構築している。栄養バランスが取れた適温の食事を提供できるよう努める。トイレカー等については引き続き導入の必要性について研究する。



緑のネットワークの実効性の担保

問 新田、富士見台に雨水貯留浸透施設の設置を。現時点で新たな計画はない。国道254号バイパスふじみ野地区土地区画整理事業により整備される調整池の効果などを検証し、適切な雨水対策を行いたい。



江川緑道と市道が交差する水天宮橋

浸水被害地域住民に対する避難対応

問 電柱などに避難先や想定浸水深標識板の設置を。

答 ウェブ版洪水ハザードマップにリンクするQRコードや避難先を掲載した電柱巻き付け看板を市内197カ所に設置している。想定浸水深の表記は課題がある。

市民・都市常任委員会議会報告会

文化施設で参加者と議員が意見交換

7月15日、市民・都市常任委員会では「それゆけ！ブンカスペース」と題して、文化施設について参加者と意見交換を行いました。

日ごろ文化施設を利用する人が参加しやすいようふじみ野ステラ・ウェストのギャラリーを会場にし、32人に参加いただきました。



オープンな場で意見交換会

参加者の意見（抜粋）

- ・楽器を貸し出してほしい。
・乳幼児連れで使える部屋の貸し出しがない。
・ステラ・ウェストのDIYルームが使いづらい、利用目的に合っていない。
・文化や文化行政の知識のある学芸員を配置してほしい。
・サークルを育成する仕組みがない。ただの貸館になっているのでは。
・イースト、ウェストなど名称が分からなくなる。

いただいた意見は後日、市の担当者と意見交換しました。また、引き続き各委員が一般質問などで調査を進めることになりました。

文京学院大学との連携協定を活用した議会報告会

生活・福祉常任委員会の議会報告会では、ひきこもり対策や貧困対策・支援をテーマに福祉分野を専攻している文京学院大学生と意見交換会を行います。当日の様子などは後日お知らせします。

連載企画

子どもたちに聞きました 夏休み親子クッキング

権利擁護と体力向上を目指すためのこどもの未来を育む条例が制定されました。子どもたちの声を聞くため、保健センターで行われたイベントでインタビューを行いました。



Q 親子クッキングに参加したきっかけと感想を教えてください。

A 夏休みの思い出をつくりたいと親が申し込みました。一緒につくる友達もいて楽しかったし、料理もおいしかったです。

みたい。うちの学校でも調理実習以外で家庭科クラブがあったらいいです。



授業で調理実習もありますが、こういう機会があって嬉しいです。

Q 市や学校でやってほしいことは何ですか。

A 市全体でのお祭りをもっとやってほしい。学校に泊まることをやって



福岡江川中流域北側に雨水貯留浸透施設を
足立 志津子議員

問 新田、富士見台に雨水貯留浸透施設の設置を。

答 現時点で新たな計画はない。国道254号バイパスふじみ野地区土地区画整理事業により整備される調整池の効果などを検証し、適切な雨水対策を行いたい。

市民ができるゼロカーボンシティへの具体策

問 住宅の断熱化対策補助制度の創設を。

答 他市町村の動向も注視しつつ、効果的な取り組みを研究したい。



集会施設の在り方
小林 憲人議員

問 集会施設の在り方は、段階を踏んで進めてきたと認識している。合併20周年を控え、方向性を確定すべきでは。

答 自治組織集会施設審議会から、地域の判断を大前提として、将来的に集会施設を市に移管し、所有から利用に転換していくことが望ましいとの意見をいただいている。今後、最善の方策を検討していく。



集会施設はどうか

24時間使えるAEDの設置を

問 AEDを屋外設置する

空家バンクの有効活用を

問 現在登録件数が0件である。家財が残っていると登録ができないが、登録要件を緩和しては。家財と相続が課題となっている。ワンストップ相談につなげて課題を解決し、登録件数を増やしたい。

編集委員がインタビュー!

表紙：働く人シリーズに寄せて

清掃員さんに伺いました

Q お仕事のきっかけは何ですか。

A ホテルに肉を卸す業者に25年間勤務して、2年後に清掃の仕事ならできると始めました。10年前からで、現在75歳です。

Q 雇用体制はどうなっていますか。

A 清掃会社のパートタイムで、勤務時間はそれぞれです。私は午前7時から午後3時半までで、週に5日間です。他の人は3時間半くらいです。

Q 仕事はどのように学びましたか。

A 見習い期間は2週間です。モップの上を靴のかかとで強くこすり込む技術を自分で考えました。主婦の視点で汚れが良く落ちるスポンジや洗

剤を試して清掃しています。

Q 仕事で大変なことはありますか。

A 特に仕事として大変なことはありません。きれいになって喜んでもらえることが生きがいで誇りです。元気でいる限り80歳過ぎまで働くことを望んでいます。長く働いていくためにも、ここ最近の最低賃金の引き上げのニュースは嬉しいです。



えびな つや子 さん

市議会だよりは、ふじみ野市のホームページからも閲覧できます。市議会の会議録も見られます。録画放映やSNSもご覧ください。

ふじみ野市議会

検索



9月定例会の傍聴者は42人でした。
次の定例会の
開会予定：11月28日 午前9:30～
市役所4階議場で開催します

請願締切予定：11月18日 午前10:00

【お詫びと訂正】

前号3ページの東台小学校と東原小学校が統合の記事について、次のとおり記載誤りがありましたので、深くお詫び申し上げます。

問 東原小学校の来年度の学級数は。

(誤) 答 各学年1学級増を想定している。

(正) 答 全体で1学級増を想定している。

議会広報常任委員会

委員長	鈴木 美恵	副委員長	床井 紀範
委員	田中 早苗	委員	古越 孝子
委員	川島 秀男	委員	板倉 篤
委員	民部 佳代		

表紙の題字を書いたくれた人

大井東中学校3年 ^{やざま} 矢間 るこさん

ふじみ野



これまで、好き、尊敬する、目標となった4人の先生と出会いました。その先生方から、理科の授業の楽しさ、教師のお手本のような姿、リーダーとしての在り方を教えてもらい、人として成長するきっかけももらいました。私も将来誰かに良い影響を与える教師になりたいです。

編集後記

9月に最終回を迎えたNHK朝ドラ「虎に翼」。女性初の裁判官が奮闘する物語を毎朝楽しみに視聴した。

ドラマのテーマは法の下での平等を規定した憲法14条。性別だけでなく、人種や身なり、性的指向、障がいなど、様々な差別や偏見に、空気が読めない主人公は「はて？」と口を挟む。

時代を開いてきた先人たちに感謝するが、それでもなお今に残る課題はある。

雨垂れ石を穿つ。後に続く私たちは、雨垂れになれているだろうか。

(民部 佳代)

市議会議員による時候のあいさつ状、寄附行為等は、法律で禁止されています。ご理解をお願いします。